

施策評価管理シート

2023(令和5)年6月作成

施策体系	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	1	生きる力を育む教育の推進		
	施策	2	青少年健全育成		
				教育委員会事務局	鷲阪 文宣

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



○ 次世代を担う青少年は、かけがえの無い存在であり、心身ともに健やかに成長することは、市民一人ひとりの願いです。青少年を取り巻く環境が目まぐるしく変化する中で、心身ともに健全にたくましく成長していけるよう、学校・家庭・地域等が連携して青少年の健全育成に取り組めます。

2. 令和4年度の取組内容及びその成果



・放課後子ども教室は新たに1教室が立ち上がり、5地域7小学校区で週末等に小学校や市民センター等の地域の施設を活用して、地域住民参画の下、子どもたちと共に勉強やスポーツ、文化活動、交流活動等の放課後子ども教室を実施し、子どもたちが地域の中で心豊かに育まれる環境づくりや子どもの地域での居場所作りの推進を図ることができました。
 ・子どもの体験活動などへのサポートや支援を行う青少年ボランティアであるジュニアリーダーを養成するジュニアリーダー養成講座を開催しました。なお、修了者の2名は名張Kidsサポータークラブに加入いただきました。また、名張Kidsサポータークラブが積極的に活動できる機会(主催事業の事務、週末教育事業協力の支援・ぱりっこモール等)を提供しました。
 ・子どもたちの安心・安全のため、登下校時や地域での生活・遊びの時などに危険な目にあった場合に避難できる“緊急避難場所「子どもを守る家」”事業の普及に努めました。地域づくり組織や学校へ事業協力者の名簿を共有し、地域全体で子どもを守る取組をしています。(協力件数2, 163件)。また、「名張少年サポートふれあい隊」は6月より夜間パトロールを行い、地域ぐるみで非行や犯罪から子どもたちを守る体制の充実・強化に努めました(9班体制、年間延べ参加者数462名、66回実施)。

3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	達成率
青少年の健全な育成に向けた取組が行われていると感じる市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	50.0	94.1%
	成果	41.5	44.4	45.0	49.6	46.2	49.5	
ぐ犯・不良行為少年数(人)	目標	-	-	-	-	-	210	100.0%
	成果	224	163	142	126	50	28	
放課後子ども教室設置数(か所)	目標	-	-	-	-	-	9	0.0%
	成果	6	6	6	4	4	5	

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



・放課後子ども教室については、5地域で取組を進めていただきました。また、未実施地域に対して、事業説明を行う等、新規立ち上げに向けた周知活動に努めていますが、まだ市内全域での放課後子ども教室の立ち上げには至っていません。地域内での子どもの居場所づくりとして重要な事業であることから、全地域実施に向けて、未実施地域に開設への働きかけを継続し、市内全域で子どもたちが放課後や週末等を安全・安心に過ごせる居場所づくりとともに多様な体験活動が行われていくよう促進する必要があります。放課後子ども教室設置数については、未達成となっていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施を予定していた地域での立ち上げが延伸したためであり、令和5年度には目標の9教室になる予定です。
 ・名張市子ども会連合会の解散もあり、子どもたちに多様な経験を積む機会を確保するためにも名張Kidsサポータークラブや青少年育成市民会議が果たす役割が一層重要なものとなってきています。
 ・近年、青少年の非行件数は減少していますが、不審者情報の増加や全国的にSNSによる青少年が被害者となる事案が発生しています。引き続き警察や学校、地域など関係機関・団体と連携を密にし、子どもたちの現状把握に努め、子どもたちを見守る体制を一層強化していく必要があります。

5. 分析結果を踏まえた新総合計画推進に向けた施策の取組内容(令和5年度以降)



・放課後子ども教室については、未実施地域や立ち上げに向けて協議を行っている地域に対して、事業着手できるよう積極的に支援し、子どもたちが放課後や週末等を安全・安心に過ごせる居場所づくりや多様な体験活動が行われるよう促進していきます。また、すでに実施している教室間の情報交換ができる機会設定に向けて検討していきます。
 ・青少年ボランティアや名張Kidsサポータークラブが継続的に活動できるよう、技術の向上や活動機会の提供等を引き続き支援していきます。
 ・地域全体で子どもを守る取組として、「子どもを守る家」事業の普及による不審者対策や「名張少年サポートふれあい隊」による夜間パトロール等を引き続き行い、地域ぐるみで非行や犯罪から子どもを守る体制の充実・強化に努めます。また、サポートふれあい隊・青少年補導センター・名張警察・学校等の関係機関・団体との情報共有などで、さらに連携を深め、子どもを守る体制を強化します。

施策を構成する主な事務事業

*R4決算額が事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています（施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます）。

単位：千円

会計	事務事業名	部局名	室名	令和4年度内容	R4決算額	うち 一般財源
一般	放課後子ども支援事業	教育委員会事務局	文化生涯学習室	子どもの居場所づくりを主眼とした、放課後子ども教室事業を5地域に委託しました。 ・延べ実施回数191回、延べ参加人数3,304人	1,046	355